

1225T.T 東大研修を終えて

わたしは、JAXA の見学をしたいという思いで今回の東大研修に参加しました。しかし、企業見学だけでなく、ディレクトフォースや OB の皆さんによるお話、東大のオープンキャンパスでもたくさんのお話をお聞きすることができとても充実した研修でした。

ディレクトフォース

ディレクトフォースでは、4 人の方のお話と IEA 元事務局長の田中伸男さんの講演をお聞きすることができました。

ディレクトフォースはまず田中さんの講演から始まりました。正直わたしは IEA のことは、全くわからず田中さんがどれほど素晴らしい人なのか良くわかりませんでした。しかし、田中さんの講演を聞いてたくさんの方がわかりました。IEA とは、国際エネルギー機関のことで田中さんはその事務局長をされていたということでした。IEA は、第一次石油危機のときに発足し、石油の管理や経済の混乱を防ぐことなどを行っています。私が驚いたのは、消費者のために石油の価格を下げようとする IEA とできるだけ石油を高く売りたい OPEC（石油輸出機構）が敵対しながらもともに協力していることです。石油の管理はどちらか一方だけではできません。全く違った方向から石油のことを考え

ている両者がいるからこそ、石油はしっかりと管理されているのだなと実感しました。また、田中さんは事務局長になるために世界中のトップの人物と交流していました。

わたしは、そんなさまざまな国のたくさんの人と誰とでもコミュニケーションができ、いろいろな人とともに仕事をするのができた田中さんをうらやましく思いました。私もどんな形でもよいので世界中を飛び回り、いろいろな国のさまざまな人とかかわれる仕事をしたいなと思いました。

田中さんの講演の後には笹川平和財団によるグループディスカッションが行われました。ここでは、特にお話が心に残った田部揆一郎さんと土井義範さんについて書きたいと思います。

一人目の田部さんは高校卒業とともに父親の転勤でアメリカにわたりました。そこで、田部さんは、MIT(マサチューセッツ工科大学)に入学しました。当時も MIT は世界でもトップクラスの大学でした。留学生もたくさんいたそうで、カナダやフランス、カナダ、中国、韓国などからも来ていたようでした。田部さんは留学生というつながりでよくいろいろな国の留学生と仲良くしていたそうです。田部さんは、その経験からわたしたちにたくさんのお話を教えていただきました。一つ目は、外国人などの違った人、違ったものなどに会ったときに柔軟な態度で接し、はねつけてはいけないということです。そうすることによって自分の知らないことをたくさん吸収できるそうです。二つ目は、考える力の大切さです。これは、どんなことをするにも大切です。田部さんのお話によるとただ考えるのではなく、しつこく考えることが大切だそうです。そのためには、数学などですぐあきらめて答えを見るのではなくあきらめずに粘り強く取り込むことを意識すればよいということでした。三つ目は、体力です。なれない海外で生活するのは想像以上に疲れるそうです。田部さんは、これが一番大切だとおっしゃっていました。

二人目の土井さんは高校生のときから海外の大学に行きたくて勉強をしていたそうです。やはり

英語は大人になっても重要です。英語ができれば英語の文献を読むことができ、より多くの情報を手に入れることができます。次に言っていた大事なことは、やりたいこと・やる価値のあることを思いっきりすることです。やりたいことは、時間も忘れ、没頭することができます。それができるようになるには、目標をしっかりと持って行動していくことが重要だそうです。また、土井さんとお話して感じたのは、日本語が外国語交じりでなまっていたことです。土井さんは、日本に帰るまもなく外国を行き来していたそうで日本に帰ってきたのはつい一週間前だったみたいです。わたしは土井さんのやりたいことをとことんやっている生き方をお聞きすることができてとても刺激を受けました。

企業訪問

ディレクトフォースの後には、企業訪問があり、わたしたちのグループは横浜市にある JAXA 相模原キャンパスを訪問しました。相模原キャンパスではまず、環境機能試験棟を見せていただきました。ここでは、現在、開発・試験をしている「ERG」という人工衛星を見せていただきました。この衛星はヴァン・アレン帯と呼ばれる磁気圏を調べるものだそうです。この試験棟では、機体を回転させて中心がしっかり取れているか、真空・高温・低温などの環境に耐えられるかなどを調べているそうです。研究分野としては、相模原が地球の成り立ちなどを調べており、筑波がロケットのどの実用的なものを研究しているそうです。

次に、衛星などの管制室を見せていただきました。管制室は想像以上に小さかったですが、たくさんコンピューターなどがおかれていました。わたしは管制室を見ることを楽しみにしていたので、これを見たときとても興奮してしまいました。また、それと同時に将来ここで働きたいなとも思いました。企業訪問は、自分の夢を再確認できたものになったと思います。

OBOG による懇談会

OBの方々と懇談会では、先輩の皆さんからたくさん学ぶことができました。特に印象に残ったのは「文系・理系に縛られるな」ということです。文系は、人の動きを見ることができます。理系は、技術をつくり、物をつくることができます。この両者を併せ持つことで社会において活躍できるのだ、という話はとても刺激的でした。わたしは、この懇談会であらゆる見方で物事を考えることの大切さを学ぶことができました。

全体を通して

東大研修では、前述のとおり本当にたくさん学ぶことができました。また、自分の将来についても考えることができました。これからの高校生活はここで学んだことを忘れず、目標を持って生活していきたいと思います。

最後になりましたが、この研修を企画していただきありがとうございました。ぜひこの経験を今後に生かしていきたいと思います。